

# 医学教育開発部門

## 著 書

- 1 \*Thaler N & Sakamoto Pomeroy M: Neuropsychological Considerations with Japanese Patients. Cultural Diversity in Neuropsychological Assessment: Developing Understanding through Global Case Studies, Section Japanese: Chapter 15, 228-240, 2022, 2, Taylor & Francis Group.
- 2 \*瀬江千史, 小田康友, 菅野幸子: 新・医学教育概論(9) - 医学生・看護学生に学び方を語る. 学域(学問への道), No. 22, 127-142, 2022, 12, (株)現代社, 東京.

## 原著論文

- 1 <sup>○</sup>Tadatsugu Morimoto, Hirohito Hirata, Masaya Ueno, Norio Fukumori, Tatsuya Sakai, Maki Sugimoto, Takaomi Kobayashi, Masatsugu Tsukamoto, Tomohito Yoshihara, Yu Toda, Yasutomo Oda, Koji Otani, Masaaki Mawatari: Digital Transformation Will Change Medical Education and Rehabilitation in Spine Surgery. *Medicina (Kaunas)*, 58(4): 508, 2022, 6.
- 2 Mitsutake T, Taniguchi T, Nakazono H, Yoshizuka H & Sakamoto M: Effects of Noisy Galvanic Vestibular Stimulation on the Muscle Activity and Joint Movements in Different Standing Postures Conditions. *Front Hum Neurosci*, Vol.16, 891669, 2022, 6.
- 3 Sakamoto Pomeroy M, Aoki Y: How to improve real-world speaking ability within conference and clinical settings. *J Med Eng Educ*, 21(3): 144-146, 2022, 10.
- 4 \*Ando, T, Yamaguchi T, Giovannetti T, Sakamoto M: A Recognition Model of Motion Primitives in VR-IADL Based on the Characteristics of MCI Patients and Elderly Adults. *HCI 2022: HCI International 2022 - Late Breaking Papers: HCI for Health, Well-being, Universal Access and Healthy Aging*, 3-12, 2022, 10.

## 学会発表

### 国内全国規模の学会

- 1 Sakamoto Pomeroy M, Aoki Y: How to improve real-world speaking ability within conference and clinical settings. 第25回日本医学英語教育学会学術集会. 2022, 7, 16-17.
- 2 小田康友: 日本の将来を見据えた, これからの生涯教育の理想的な方向性を考える - 特に生涯教育で強化必要な実践力とは - 生涯教育を視座とした卒前教育の再構築を. 第54回日本医学教育学会大会 (ハイブリッド開催). 2022, 8, 4-6 (現地開催), 2022, 7, 29-9, 6 (オンデマンド配信).
- 3 小田康友, 福森則男: 感染症教育に関するカリキュラム評価の試み. 第54回日本医学教育学会大会 (ハイブリッド開催). 2022, 8, 4-6 (現地開催), 2022, 7, 29-9, 6 (オンデマンド配信).
- 4 坂本麻衣子, 福森則男, 植田美穂, 木本晶子, 山崎加奈枝, 堀 恵子, 小田康友: 医学科生の自己主導型学習能力と学修成果の関連性. 第54回日本医学教育学会大会 (ハイブリッド開催). 2022, 8, 4-6 (現地開催), 2022, 7, 29-9, 6 (オンデマンド配信).
- 5 福森則男, 坂本麻衣子, 植田美穂, 木本晶子, 堀 恵子, 山崎加奈枝, 小田康友: COVID-19の流行による学習環境の変化が医学科3, 4年生の自己主導型学習能力および基本的臨床手技の学修に与えた影響. 第54回日本医学教育学会大会 (ハイブリッド開催). 2022, 8, 4-6 (現地開催), 2022, 7, 29-9, 6 (オンデマンド配信).

- 6 坂本麻衣子, 中尾 綾, 小山璃久, 鶴味詢大, 山之内純, 中田浩智, 松下修三, 南 留美, 山口武彦: タブレット版 HAND スクリーニング検査の妥当性と有用性. 第36回日本エイズ学会学術集会・総会 (ハイブリッド開催). 2022, 11, 18-20 (現地開催+ライブ配信), 2022, 12, 1-20 (オンデマンド配信).
- 7 ○武富由美子, 田淵康子, 熊谷有記, 坂本麻衣子, 鐘ヶ江寿美子, 矢ヶ部伸也: がん患者遺族の心的外傷後成長と関連要因に関する縦断研究. 第46回日本死の臨床研究会年次大会(ハイブリッド開催). 2022, 11, 26-27 (現地開催+ライブ配信), 2022, 12-2023, 1, 31 (オンデマンド配信).
- 8 \*鶴味詢大, 山口武彦, 松下修三, 山之内純, 中田浩智, 南 留美, 坂本麻衣子: 2-Back タスクにおける健常者と HIV 感染者の振る舞いの相違性. 第31回ライフサポート学会フロンティア講演会 (オンライン開催). 2022, 3, 7-8 (Zoom).
- 9 \*町田翔真, 山口武彦, 林那由斗, 松下修三, 山之内純, 中田浩智, 南 留美, 坂本麻衣子: 高臨場感 VR 環境を用いた IADL パフォーマンスにおける Micro-error の計測可能性の評価. 第31回ライフサポート学会フロンティア講演会 (オンライン開催). 2022, 3, 7-8 (Zoom).
- 10 \*安藤泰生, Tania Giovannetti, 坂本麻衣子, 山口武彦: ヒトの認知モデルに基づく動作プリミティブの認識モデル: VR-IADL への応用. 第31回ライフサポート学会フロンティア講演会 (オンライン開催). 2022, 3, 7-8 (Zoom).

#### 研究助成等

職名	氏名	補助金(研究助成)等の名称	種目	1:代表 2:分担 該当番号を記入	研究課題等	交付金額 (千円)
教授	小田 康友	琉球大学	ポストコロナ時代の医療人材養成拠点形成事業	2	ER型救急・総合診療に対応できる医師育成のためのプログラム開発	11,000
准教授	坂本麻衣子	科学研究費助成事業	基盤研究(C)	1	HIV関連神経認知障害(HAND)診断ツールの標準値構築と動作エラーモデルの開発	2,730 (200)
准教授	坂本麻衣子	科学研究費助成事業	基盤研究(C)	2	ピアサポーター参加型のがん相談支援ネットワークモデルの開発	0 (60)
准教授	坂本麻衣子	科学研究費助成事業	基盤研究(C)	2	ノイズ前庭電気刺激の姿勢安定性に関する多角的研究	65
准教授	福森 則男	科学研究費助成事業	若手研究	1	医学生の自己主導型能力と診察参加型臨床実習中の学習行動および学修評価との関連	910 (596)

※ ( ) は繰越金で外数